

令和7年度

令和7年10月15日発行

文部科学省研究開発指定校

SSH スーパーサイエンスハイスクール

# SSHだより

第2号

(4期指定4年目)



東京都立日比谷高等学校

## 「SSH 国内派遣研修」活動報告

今年度は、宿泊の SSH 国内派遣研修は、Ⅰ福島研修 Ⅱ北海道研修 Ⅲ伊豆大島研修 の3つの研修が実施されました。今回の SSH だよりでは、3つの研修に関して、ご報告します。

### I. 福島研修 「東日本大震災から学ぶ ～復興と科学技術～」

今年度の福島研修は、8月20日から22日の2泊3日で実施されました。今年度は日比谷高校（15名参加）と八王子東高校（7名参加）の2校での合同研修という形、かつ1泊2日から2泊3日へ拡大した形で実施をしました。訪問先は右記の通りです。原発事故を踏まえた現状を、生で見る中で、東日本大震災による福島県の被災と、被災からの復興を題材として学び、その課題を自分ごととしてとらえることが出来ました。発表に向けて、現在も各校で提言をまとめている作業を行っています。

#### 《福島研修 訪問先》

##### 【1日目 8/20】

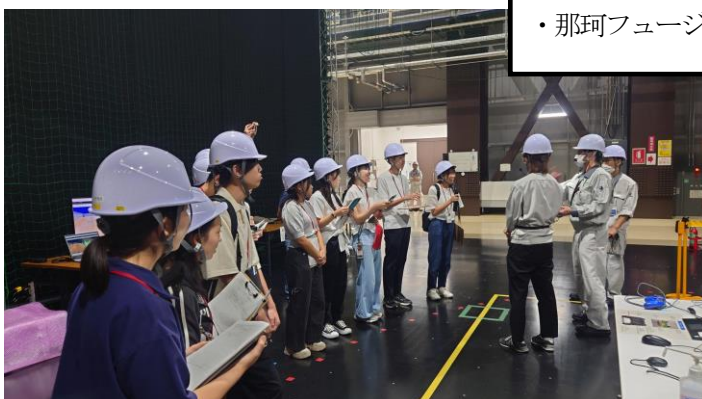
- ・ 楡葉遠隔技術開発センター
- ・ 原子力伝承館

##### 【2日目 8/21】

- ・ 震災遺構・浪江町立請戸小学校
- ・ 中間貯蔵施設
- ・ 福島第一原子力発電所
- ・ 東京電力廃炉資料館

##### 【3日目 8/22】

- ・ 原子力災害考証館
- ・ 原子力科学館
- ・ 那珂フュージョン科学研究所



### II. 北海道研修

#### 「地球史から学ぶ ～旭岳の造山と太古生物化石・高山植物の変化～」

今年度の北海道研修は、1年生11名、2年生2名の計13名で、9月27日から29日の2泊3日で実施しました。1日目は旭岳の高山植生や地形の観察FW・2日目は三笠の地質と化石について、三笠市立博物館の見学と、FWを実施しました。この日は、北海道札幌南高校の生徒と合同で研修を実施しました。最終日は北海道大学を訪問して、環境科学院の工藤准教授から高山植生に関する講義を、北海道地質学研究中心の川村先生からは、地質に関わる講義を受けました。北海道の雄大な自然を題材にしながら、多様性と保全を考える契機となりました。こちらも今後の発表に向けて、多様性班と保全班に分かれながら、提言をまとめる作業を進めています。



### Ⅲ. 伊豆大島研修

#### 「火山と植生から学ぶ

#### ～自然災害と環境復元力～」

昨年度の伊豆大島研修は、1年生12名、2年生7名、3年生1名の計20名で、9月30日から10月1日の1泊2日で実施しました。浜松町に集合してから、ジェット船で伊豆大島に向かい、初日は地質的な面を見学するFWを実施しました。具体的には、伊豆大島ミュージアムの見学、地層大切断面・トウシキ海岸・筆島などの見学に加えて、夜間の天体観測も実施しました。2日目は、雨に降られながらも、三原山のFWを実施しました。最終噴火年代が異なるエリアを歩き、遷移段階の変遷を観察するとともに、パッチの調査も実施をしました。伊豆大島研修メンバーも、事後研修に取り組み、生物班・地学班に分かれて、提言をまとめる活動をしています。



各研修の事後活動の一環として、外部に発表をする機会を今年度は設けています。他者への発表を通して、新しい視点を発見して、改善をするきっかけとなっています。

(発表や意見交換会の例)

- \*福島研修 環境省への発表 八王子東高校との相互発表など
- \*北海道研修 札幌南高校への発表・意見交換会
- \*伊豆大島研修 日本離島センター石川さんへの発表 大島高校の先生との意見交換会

各研修の成果報告については、

**2月 14日 土曜日のSSH 成果報告会**にて発表を聞けます。

ぜひご参加ください。(第1部で口頭発表・第2部でポスター発表)